

第19回

十湖賞

俳句大会

伝えたい今がある

応募期間

令和8年

7月1日(水) → 9月30日(水)

表彰式 令和9年2月11日(木・祝) 浜松市総合産業展示館北館4階 1号ホール

選者

※選者氏名五十音順

高柳克弘氏(「鷹」編集長)
村松二本氏(「椎」主宰)

中川正男氏(「みづうみ」主宰)
百合山真苗氏(「海坂」主宰)

応募区分

一般の部

高校生の部

中学生の部

小学生以下の部

2026 松島十湖
没後100年

「浜松は出世城なり初松魚」という
俳句を詠んだことで知られる俳人。



主催／浜松市中央区東地域俳句の里づくり事業実行委員会、浜松市

後援／静岡県教育委員会、浜松市教育委員会、中日新聞東海本社、静岡新聞社・静岡放送、FM Haro!、浜松ケーブルテレビ株式会社

第19回 十湖賞

投句方法

郵送/FAX/メール/Webより投句いただけます。
詳しくは裏面又は、QRコードをご確認ください



浜松市中央区俳句の里づくり事業

第十九回 十湖賞 俳句大会

俳人 松島十湖 (まつしま じゅっご)

松島十湖は、嘉永2年(1849年)、遠江国豊田郡中善地村(今の浜松市中央区豊西町)の生まれ。幼い頃から国学や報徳の道を学ぶとともに、俳諧の道にも進みました。俳句では、生涯約7000に及ぶ多くの俳句を生み、全国に数千の門人を擁し、大正時代には日本俳壇の雄として大いに名を馳せました。



松島十湖翁肖像画
(水野以文画、源長院所蔵)

■句 題 句題はありません。
自由に俳句を詠んでください。

自分で感じたこと、思ったことを、五・七・五のリズムにのせてのびのびと表現してください。

■応募方法 専用の投句用紙、または郵便ハガキ、封書、FAX、Eメール、市HPの投句フォーム、直接持参にて受付。
応募の際は、郵便番号・住所・電話番号・氏名・俳号(任意)・学校名・学年・応募区分を記入のこと。

※ご応募の際にいただきました個人情報、入賞時の連絡等に使用します。また、入賞された方におかれましては、今後作成する配布物等において、作品とともに、お名前、住所の一部、学校名、学年を公表させていただきますので、あらかじめご了承下さい。

※俳号記載の場合、入選時の氏名の公表及び賞状表記は一律で俳号とします。

■応募作品数 一人2句まで ※自作・未発表の作品に限ります。

■応募区分 ●一般の部 ●高校生の部
●中学生の部 ●小学生以下の部

■投句料 無料

■応募締切 令和8年9月30日(水) 必着

■賞 ●十湖大賞(4部門の十湖賞受賞作品の中から選出) 1句
●十湖賞(各部門) 1句
●区長賞(一般の部) 1句
●県教育長賞(高校生の部) 1句
●市教育長賞(小・中学生の部) 各1句
●特選(各部門) 2句
●佳作(各部門) 6句
●奨励賞(各部門) 20句

■応募・お問い合わせ先

〒435-8686 浜松市中央区流通元町20番3号
浜松市中央区東行政センター 地域振興担当

第十九回「十湖賞」俳句大会係

TEL 053-424-0115 / FAX 050-3737-5872

E-mail e-shinko@city.hamamatsu.shizuoka.jp

〒435-8686

浜松市中央区流通元町20番3号

浜松市中央区東行政センター 地域振興担当

第十九回「十湖賞」俳句大会係 行

〒	お名前		ふりがな
	姓	名	
ご住所	郵便番号		※任意
電話番号	学校名	学年	
区分	☐ 一般の部 ☐ 高校生の部 ☐ 中学生の部 ☐ 小学生以下の部		

よろしければアンケートにご協力ください。

●ご年代をお教えてください。

10代未満 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代以上

●どこでこの大会を チラシ・市役所HP・雑誌広告[誌名:]
知りましたか? その他(内容をお教えてください) []

一人2句まで投句できます。 ※自作・未発表の作品に限ります。

二句目(ふりがなもご記入ください)

一句目(ふりがなもご記入ください)

句題はありません。自由に俳句を詠んでください。

※文字はマスをつめて楷書で鮮明に書き、難解な文字には「ふりがな」を付けて下さい。

→ はがき表面に貼付けてお使いください。

→ 投句用紙(ハガキ裏面に貼付けてお使い下さい。)